

Q&A

Q) WAYBILLの利点とは何ですか？

A) B/Lを郵送中に紛失したり、郵送到着が遅れる等の理由がある場合、荷渡しを行うために現地で銀行保証状の差し入れが必要になることがあります。B/L(船荷証券)が一度発行されると、その有価証券としての性格ゆえにその取扱には十分な注意が必要であり、取引契約上で船荷証券を必要としないのであれば、敢えてこれを発行しない方がトラブルの未然防止につながります。荷送人(SHIPPER)にとっては、荷渡しのために荷受人(CONSIGNEE)にB/Lを送付する必要がなくなり、WAYBILLはB/Lと違って有価証券でないため譲渡性がなく、未着や紛失の際のリスクがなくなり、安心してご利用頂けます。本支店間・海外現地法人との取引、十分に信用のある取引先との継続的な取引の船積みには、スムーズな荷渡しのためにも、弊社ではWAYBILLのご利用をご案内しております。ご不明な点は営業担当までお気軽にお尋ね下さい。

情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版



ジャパトラマンのほやき

オーバーゲージ貨物

まだ寒い季節が続いておりますが如何お過ごしでしょうか。弊社の得意なサービスの一つでもあるオーバーゲージ貨物を、毎月取り扱いさせて頂いておりますが、昨年の10月、11月には合計100本以上のFLATコンテナを手配し、特に北米向けにおいては大手工作機械メーカー複数社からブッキングが重なり、1船で40' FULL VOID FLAT15本積み切るといふ難題に直面しました。通常の本船で10本以上のFLATコンテナを積み切るのはスペースや積載条件の都合上、非常に難しい為、事前の準備と船会社との密なやり取りが必要となってきます。FLATコンテナFULL VOIDは1本あたり12TEUのスペースを要しますので、10本になると20' DRY コンテナ120本分のスペースを必要とします。本船のCUT日が迫るまで全量のブッキングがなかなか確定しにくいスペースタイトな状況の中、毎日各船社にスペース状況を確認し、積めるスペースを把握し、積載可能な物量を船会社ごとに交渉し、無事全量のブッキングを取る事が出来ました。もし全量積みできなかったらお客様へ迷惑が掛かると毎日気が気でありませんでしたが、お客様へも随時状況をお伝えしながら、代案も考慮し手配を進め、最終的に無事にブッキングをお取りできたのは良かったです。そのような事もあり、オーバーゲージ貨物の出荷量も顕著に伸びていると感じる昨年でした。弊社の得意とする全世界向けオーバーゲージ貨物のサービスは今後も自信を持ってお客様へご提供させて頂こうと改めて感じました。話は変わりますが、3月は決算を迎えられる企業様も多い事と思います。どうしても船積みを3月中旬に間に合わせたいがスペースがないという時は一度弊社へお声掛け下さい。全ての船会社と取引をする事がメリットである弊社の強みを生かして、日本中で積める可能性のある船を最後までお探しします。

